

平成 16 年 5 月 18 日

朝日新聞社科学医療部長  
尾関 章 殿

原子力委員会

5 月 1 6 日付け貴紙 2 面「核燃サイクル 実施時期、明示せず」について

原子力委員会は、5 月上旬の新聞各紙の報道を受け、5 月 1 1 日開催の第 1 8 回原子力委員会定例会において、委員会が決定していない方針に関し、あたかも、決定した如く報道が散見されることについて、原子力委員長より、正確な報道を要請するとともに、当該記者に対する口頭抗議を行った事実を紹介したところであります。

しかるに、貴紙は、去る 5 月 1 6 日に「核燃サイクル 実施時期、明示せず」と見出しをつけた、記事を掲載いたしました。

当該記事には多々指摘すべき点もありますが、特に、「原子力委員会は、原子力研究開発利用計画（長計）を改定し、核燃料サイクルの主な事業の実施時期を明確にしない方針を決めた。」と報道いたしました。1 1 日の定例会において、委員長から発言しましたように、「長計についてご意見を聴く会」等のご意見のとりまとめを行っている、いわば準備段階であり、現段階では、長計の策定作業にも着手していない状況にあります。貴紙においても、当該記事の後半部において、「原子力委は 6 月から改定作業に入り、」と報道しているように、原子力委員会が未だ作業に入っていない長計の方針を決定した事実がないことは自明であります。したがって、その報道は矛盾に満ちた誤報と言わざるを得ません。

当該記事は、原子力委員会が次期長期計画をあいまいな内容にすることを決定したという印象を読者ひいては国民全般に与えることとなります。委員会は、このことが今後の原子力政策の円滑な遂行に重大な支障が出ることを危惧しております。

ここに厳重に抗議します。